

2019年8月23日

トヨタホーム株式会社

2018年度戸建販売実績、愛知県で19年連続No.1

ユニット工法住宅「シンセ」シリーズを中心に1,600棟を販売

株式会社住宅産業研究所がまとめた2018年度の住宅メーカー販売実績によると、「トヨタホーム」の戸建販売棟数が愛知県で第1位となりました。2000年度から19年連続の1位となり、2018年度は1,600棟を販売しました。

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉1丁目23番22号／取締役社長 後藤裕司）は、トヨタグループの総合力を活かした住まいづくりに取り組み、基本性能やデザイン面などで高い評価をいただいております。

2018年度は、戸建商品では4月に主力のユニット工法住宅で敷地対応力に優れたコンパクトモデル「シンセ・アイラシク」を発売、2月には鉄骨軸組工法の「エスパシオ」において狭小地対応力を強化し、また、分譲事業では豊田市や安城市などで分譲住宅を販売するなど、戸建と分譲の双方で積極的に事業展開したことにより、特にファミリー層を中心に訴求することができました。

2019年度は、災害への備えをより強化した住まいの提案や共働き世帯の生活利便性を向上する機能の充実、商談プロセスのなかで建物のイメージを具体化するデジタルツールの導入など、引き続き、きめ細やかなサービスを提供するとともに、お客様の多様な要望にお応えしてまいります。



2018年に発売した「シンセ・アイラシク」(左)と狭小地対応力を強化した「エスパシオ」(中)とその室内イメージ(右)



トヨタホームは「建てるときの安心」「建てたあとも安心」「支える安心」の3つの安心をお届けし、60年長期保証[※]制度などで生涯サポートします。

※トヨタホーム販売店による点検と適切なメンテナンスが必要です。



2018年度 デミング賞[※]受賞
※品質の最高ランクの賞